

『第35回JOCジュニアオリンピックカップ大会』
南関東ブロック代表選手の選抜方法について

南関東ジュニア武術太極拳大会実行委員会

- 1) 南関東ブロック代表選手は下記の方法により選抜する。

【ジュニア規定競技部門A】

徒手種目と器械種目の合計得点をもとに選抜する。

長拳および南拳の器械種目は短器械・長器械いずれか1種目のみとする。

※徒手・短器械・長器械の3種目エントリーは不可。

【ジュニア規定競技部門B・C】

長拳および南拳種目は3種目（徒手・短器械・長器械）の合計得点、

総合太極拳種目は2種目（太極拳・太極剣）の合計得点の上位選手から選抜する。

24式太極拳は最終得点の上位選手から選抜する。

～補足事項～

※ 太極拳種目において、ホイッスルは吹かれないので注意すること。

※ 各部門の選抜選手数は後日発表する。

- 2) 南関東ブロック代表選抜対象者は日本国籍を有する者、又は継続在留期間が3年以上の外国人とする。
但し、日本国籍を有しないものは日本代表選抜の対象外となる。
- 3) 選抜された選手の氏名と種目は所属の都県連盟に通知される。
「第35回JOC大会」へのエントリーはその名簿に基づいて都県連盟が管理を行う。
- 4) 「第35回JOC大会」には本大会に出場した徒手種目と器械種目にエントリーできる。
長拳・南拳において、短器械・長器械のエントリーしなかった種目の追加エントリーができる。
国際大会出場を目指す選手はJOC大会に3種目のエントリーが必須となるため注意すること。
なお、長拳において出場した器械種目の刀と剣、棍と槍の間での入れ替えは不可とする。
太極拳・第三套路に出場した選手は太極剣から太極扇に変更することができる。
- 5) 南関東ブロック代表選手としての技術水準を保つため、
徒手種目と器械種目の平均点が8.000未満の選手は選抜対象から外す場合がある。
- 6) 国際第三套路種目において選抜された選手は、JOC大会へのエントリー時に日本連盟選手強化委員会の
出場審査を受けなければならない。この審査にて出場基準を満たしていないと判断された選手は
エントリーが却下される場合がある。
- 7) 「第35回JOCジュニアオリンピックカップ大会」の大会要綱発表後、内容に変更が生じる可能性がある。
- 8) 国際大会要綱の内容に従って、日本代表選手選抜における年齢区分等に変更が生じる可能性がある。

以 上